

がんばってます！  
まちなものづくり企業



東京府中競馬場の屋外大型映像装置は、世界最大の表示面積(縦12.8m×横68m×幅2.3m)としてギネスブックに登録されました。

## 大型映像装置の累積供給面積日本一!!

### ナガベア (株)

これまで、国内外に約200台を出荷し、大型映像装置の累積供給面積では日本一の企業です。大リーグのドジャーススタジアムを皮切りに、香港競馬場などの海外施設の大型映像装置をはじめ、国内でも、東京ドーム、甲子園などの野球場、競馬・競輪・競艇・サッカー場に出荷、また県内では、アミュプラザ長崎、シーハットおおむらなど数多くの施設に設置されています。

ナガベアは、長崎ベアリング商会として昭和35年創業。当時は、部品販売などをおこなう会社でしたが、新たな事業へ進出するため、当時社会問題となっていた騒音公害問題に着目し、昭和46年にサイレンサーの開発に成功しました。昭和57年に現在のナガベアへ社名を改称後、平成17年に長崎と大村に分散していた営業と設計部門を統合して、現在地に工場を移しました。

従業員数は57名(大村工場42名)。品質はもろろんのこと、環境基本理念を定めて会社の発展と豊かな社会づくりへの貢献を目指しながら、ものづくりの本質である設計を重視し、製造までの行程を一貫して大村工場に対応しています。

大村工場では、サイレンサーや防音カバー、ダンパー装置などを製作していますが、開発当初に比べ段々と大型化しています。全行程を自社対応がモットーで、大手電機メーカーの依頼で製作を開始した大型映像装置は、世界に先駆けて開発に成功、その技術が認められ、世界各地へ納品するまでになりました。現在の大型映像装置はLED方式と呼ばれるもので、高解像度を実現。制御システムや鉄骨構造物も1ミリの誤差も許されない高度の精度が要求されるのですが、長年にわたる技術・制御システム調整の経験を評価され大手メーカーにも高い信頼を得ています。



代表取締役 いまむら かつお 氏 今里和昭

#### 社長コメント

技術を継承していくことは大切ですが、常に挑戦し続ける社員の人材育成に力を注ぎ、会社の発展と同様に社員の幸せな生活向上を目指しています。

芯の通った揺るぎない考えを持ちながら、世の中の流れに沿い、常に改善していくという意味の「不易流行」の精神をもって業務に取り組んでいます。

#### 社員さんからひとこと

えがかわたる  
江川渉さんは入社10年目の27歳。小さい頃から絵を描くことが好きで、工業高校で、ものづくりや設計の楽しさを学び、技術を生かせる仕事をしたかったのが入社のも動機です。

今は、自分が描いた設計がそのまま製品になっていくことにやりがいを感じています。



ナガベア(株)大村工場  
松原本町565-3 ☎0958-4151  
本社：長崎市